

広報

よもぎた

内容

- 新年のご挨拶／新年随想……………2
- 総務課／蓬田村議会から……………3
- 1990年村の重大ニュース……………4
- 東郡小学生卓球大会……………5
- 玉松地域をこうしたい！……………6～7
- 村社会福祉大会……………8
- せんりゆう北緯41°／一枚の写真から……………9
- 村体育協会／各課から……………10
- 談話室／行事予定……………11
- けつばる蓬田人／戸籍の窓口……………12

No.196



早く出て来い！熱いお湯！！

1

月

1991

書初や子も一つとる年の功
あけましておめでとうござ
います。 千秋

皆様、おせち料理をいた
きましたでしょうか。

最近、出前の寿司や仕出
し、オードブルを頼む家庭が
増えていると聞きます。昔は
隣も我が家も似た手料理だっ
たのですが、今はバラエティ
に富んでいることでしょう。

ところで、どうして一月を
正月と言うかご存じですか。

「政治に専念した秦の始皇
の降誕の月であるところから
セイグワツ（政月）といっ
いたものが、正月と書かれる
ようになり、音が改められた
もの」（日本国語大辞典）だ
そうです。

政治は大事なものであるか
ら、忘れないように年が明け
最初の月にそのような名前
をつけたのでしょう。

さて、今年はどうな年にな
るのかな。

新年のご挨拶

村長 八戸 良次郎



開けゆく二十一世紀に向けて、新年を心から寿ぎ、村民皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。また、村政運営につきましても暖かい御協力と激励を賜り誠に有難うございます。

前年は低米価、減反の中にも豊作を見たことを喜びたいと思います。しかし、まだまだ農業情勢はきびしく多角経営と申しましようか、複合経営に向けて頑張り所得の向上

に一生懸命努力いたしました。村の経済も農業から他産業に移りつつあります。

また、社会情勢も、高齢化社会、高速交通、情報化、国際化へと移行しつつある現状を生み出しています。勤勉である日本民族の努力の結果と申すことができると思います。

しかしその反面、物は豊かになったが、心の面で今速かに対応すべき点が沢山出てきております。文化を誇り、科学を進歩させる一方、情操の豊かさを取り戻し、更に発展させなければならぬと思

います。村民憲章にある、明るい村、住みよい村、豊かな村づくりに更に思いを致してお互いに頑張りたいと思います。

一昨年は村制施行百周年を記念して、記念碑の建立、奨学基金の設定、郷土芸能玉松太鼓の設定などを行いました。が、まだまだこれからやらなければならぬ仕事が多山積しております。

玉松地域開発プランを軸に、海水浴場の整備と海浜美化、玉松スポーツガーデンの促進、温泉復元による村民健康主体の施設の整備、高齢福祉対策、教育の向上は言うに及ばず、

農業基盤の整備も農道を主体に促進させ、生涯教育まわづくり事業も財政とにらみ合せて、真に村民の間に夫々定着、観光開発についても商工会と連携を保ちながら、村の特質を生かす物産、加工品など

沢山の物を開発するようにしたいと思

います。役場職員も一同力を合せて今年に更に努力するよう村長として要望しております。

「言うは易く行ふは難し。」であります。村民皆さんの力を借りると共に、関係機関のご指導を頂きながら精一杯頑張るつもりであります。重ねて村民皆様のご健康ご多幸を願って年頭のご挨拶と致します。



新年随想

教育長 奈良 尹

会の変化を言ったものだと思

う。
平成三年を迎える新たな決意となると、今年こそはと、気張ったことはない。ただ念願みたいに考えていることは、貴重な村財政の中で、どうしたら有効に教育行政に反映させ、皆さんの要望に応えるかの一言に盡(つ)きるのである。

「ふるさとの活性化」が叫ばれるこん日であるが、線香花火のようではならないし、奇抜なアイデアはいいが後は閑古鳥、村の重荷になるようにはしたくない。しかし一旦決意断行したら多少の困難は覚悟の上、継続の努力は当然である。玉松太鼓しかり、修学奨励事業しかりである。軌道に乗せる責任がある。

今後の問題として学校の五日制導入がある。どう対応すべきか充分注意し知恵をこらさなければならぬことである。青少年の問題として片付けられることでなく将来の日本社会の形成にもかかわる問題でもあろう。

明日の生活に追われている私共は忙しく暮らしているしそれどころでない心境もある。しかし子供のことには是非家庭の方々にも手をかしていただかなくてはなるまいか

「新しい革袋に新しい酒を」これは新しい年には又気分を更めて出発しようということだろう。

「年々歳々人同じからず歳々年々花相似たり」とも言う。悠久の自然は相変らずのままだが、それを取りまく人間社

戸籍の窓口

平成3年1月1日から

新しい戸籍は正しい字で。

◆新しい戸籍には 正しい字で記載

- (1) 従来の戸籍に氏名が誤字・俗字で記載されている方について、次のような場合には、新しい戸籍に正しい字で記載します。
 - ① 婚姻、転籍などによって新しく戸籍を作る場合
 - ② 養子縁組などによって他の戸籍へ入籍する場合
 - ③ 戸籍を再製する場合など
- (2) 誤字・俗字を正しい字で記載する場合には、届出の時あるいは戸籍に記入した後その旨をお知らせします。

(3) 俗字のうち「館」や「崎」など、一定の字については従来のまま記載します。

◆申し出によって 正しい字に訂正

現在の戸籍については、そのままでは正しい字には直りませんが、申し出によって、いつでも戸籍に記載されている誤字・俗字を正しい字に訂正することができます。

●詳しくは役場戸籍窓口でおたずねください。

らその節はよろしくお願いたいものである。「働けど働けど吾が暮し楽にならず、じつと手を見る」啄木

しかしこの詩に共感を覚えるのは「あせり」を感じないことである。今ある姿から立

上ってゆこうとする決意さえ感ずるのである。即ち今あることからの出発こそ新しい年への出発としたい心境である。

時に運、不運、出来、不出来があろうが、定まりなきは世の常だと言う。

未熟、未完成だから私の書も、剣道も続けられたし、そして生涯かかってでも不可能な課題に向かって……学習しているのである。

豊かな羊年に！

平成三年は未年です。

羊は「おとなしい」「柔順」「群れになる」などのイメージがありますが、何よりもわたしたちが実感できるのは、ウールのセーターや皮製品の肌ざわりと温かさです。

日本には、羊にまつわる諺（ことわざ）があまり多くありません。

明治の初期、政府は緬羊（めんよう）の飼育振興を試みましたが失敗。その後、軍服などの製造のために、羊の飼育が奨励されました。

また、戦後は農家の副業として、多いときは百万頭も飼育されていました。しかし、

現在の飼育頭数は、北海道や東北などを中心に、三万七千頭ぐらいに過ぎません。

最近では、全国各地で観光牧場などの整備が進み、子供たちが羊を見る機会は増えました。

羊毛は、天然繊維の人気上昇で、日本での需要が増えていきます。外国産が中心で、オーストラリアやニュージーランドなどから輸入しています。

さて、「一年の計は元旦にあり」といいます。今年の目標を決め、「迷える羊」にならないよう、スタートを切りたいものです。

新春のお慶びを
申し上げます

平成三年元旦

蓬田村議会

公職選挙法の改正によって、政治家は選挙区内にある者に対し、年賀状等の時候のあいさつ状を出すことが禁止されました。

1990年村の重大ニュース！

昨年は、こんな事がありました

昨年、村が主催した大きな行事等として、温泉ボーリング工事、村民祭へ村出身の歌手を招いたり等、また、中沢部落においては二千年の文化を継承して、田植祭を開催するなど色々な事がありました。



9/28い〜い湯が湧くようにと安全祈願！



7/27村民体育祭で阿弥陀川チームが総合優勝



5/15ワープロ教室スタート！



8/263千人のお客さんと賑わった牧場祭



11/3〜4 第10回蓬田村民祭



5/27中沢部落が田植祭を実施

団体女子の部で準優勝！

個人戦では福浦佳奈子さんが見事優勝

第2回東津軽郡小学生卓球大会

明日のオリンピック選手を目指して……

十二月二日(日)村農業者トレーニングセンターにおいて、東津軽郡内小学生における卓球競技の普及発展を期すとともに、相互の技術の向上と親睦を目的に、東津軽郡体育協会(会長小嶋要市)主催の第二回東津軽郡小学生卓球大会が、選手及び関係者合わせて三百名の参加を得て開催された。

午前九時三十分から始まった開会式では、小嶋大会長より「選手の皆さんは学校での練習成果を今日は発揮してほしい。また、いずれはオリンピック選手を目指してほしい」と挨拶があり、来賓を代表して奈良尹教育長より「今日はおたくさんの選手が参加してく



れましてありがとうございます。卓球は一生通じて出来るいいスポーツです。今日は平日頃の練習成果を発揮して下さい」と祝辞をいただきました。

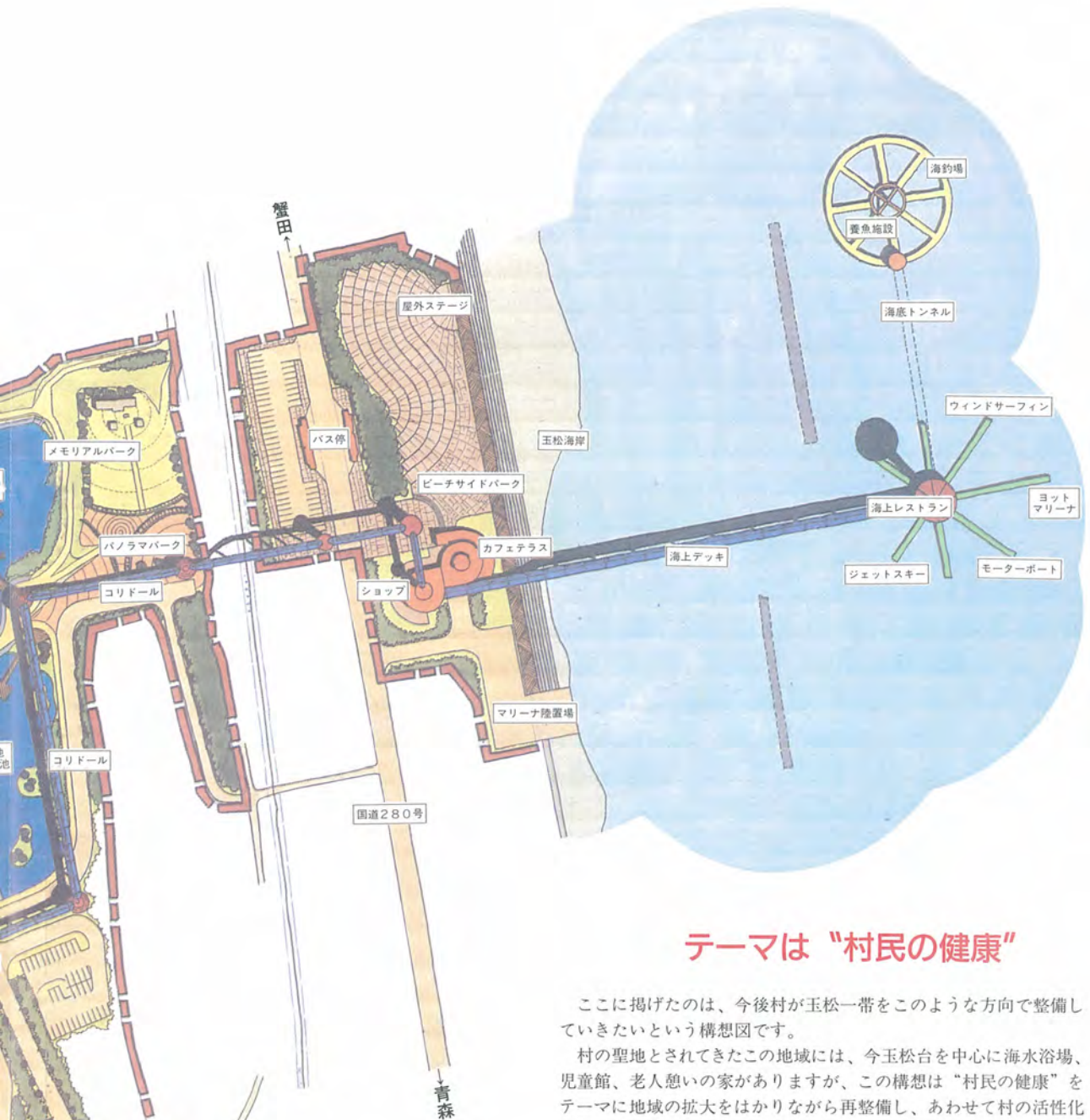
引き続き、青木實審判長から競技上の注意がありました。

選手を代表して、蓬田小学校六年の森寿朗(阿弥陀川)君と、工藤美由紀(中沢)さんが元氣一杯選手宣誓をして開会式を閉じました。

今回参加したチームは、蓬田小学校、蟹田小学校(蟹田町)、小国小学校(蟹田町)、大山小学校(蟹田町)、二股小学校(今別町)、小湊小学校(平内町)、狩場沢小学校(平内町)、東小学校(平内町)、東栄小学校(平内町)、浦田小学校(平内町)の十チームで、熱い戦いが繰り広げられました。

競技は、日本卓球協会のルールに従い、二十一本三セットで二セット先取法によるもので行われ、男女団体戦、男女個人戦、「バンビの部」(小学一～二年)、「カブの部」(小学三～四年)、「ホープスの部」(小学五～六年)と学年ごとに別れ行われました。

- 試合の結果は、男女バンビの部では、蓬田チームしか参加がなかったため目出度く全員が入賞を果たしたほか、団体の部では女子が準優勝を獲得。個人では、福浦佳奈子(瀬辺地)さんが並みいる強敵を倒し見事優勝を飾ったほか、他の選手も続々と入賞を果たしました。
- 二回目を迎えたこの大会も午後四時過ぎには一人のけが人もなく無事終了しました。結果は次の通りです。
- ▼団体(女子) 準優勝「蓬田小学校」
 - ▼個人(男子バンビの部)
 - ①田中直樹(蓬田) ②川崎信也(広瀬) ③川崎秀晴(広瀬)
 - ④大宮俊彦(郷沢) ⑤福田康寿(郷沢)
 - ▼個人(女子バンビの部)
 - ①福浦望(瀬辺地) ②森倫子(阿弥陀川) ③太田絢子(宮本) ④中川由香(郷沢)
 - ▼個人(男子カブの部)
 - ⑤森喜朗(阿弥陀川) ⑤大宮裕之(郷沢) ⑤武井洋史(蓬田)
 - ▼個人(女子ホープスの部)
 - ①福浦佳奈子(瀬辺地) ③小野由紀子(郷沢) ③工藤美由紀(中沢) ⑤大宮千尋(郷沢)
 - ⑤越田絵梨香(瀬辺地)



テーマは“村民の健康”

ここに掲げたのは、今後村が玉松一帯をこのような方向で整備していきたいという構想図です。

村の聖地とされてきたこの地域には、今玉松台を中心に海水浴場、児童館、老人憩いの家がありますが、この構想は“村民の健康”をテーマに地域の拡大をはかりながら再整備し、あわせて村の活性化につなげようとするものです。

開田を進めてきたわが村で、まとまりをもった整備をしようとするれば、ここ玉松一帯が最も適しています。

海水浴場の再整備や、人工の島、野球場、テニス・コート、ゲートボール・コート、温泉浴場、高齢者に関する施設、キャンプ場、ジョギング・コースなどの新設が盛り込まれていますが、具体的には施設ごとに年次計画が立てられ実施されることになります。

村政施行100周年を期に、一つの角度から村の発展を思いとめられた構想ですが、これを全て造り上げるとすれば長い年月と多くの費用がかかります。皆様の理解と協力がなければなりません。よろしく願います。

0 50 100(m)

玉松地域をこうしたい!



誰もが幸せに

暮せる村づくりを目指して！

第8回社会福祉大会



地域全体の問題として考えよう。

私たちは誰でも、幸せに暮らせる住みよい地域を目指しています。しかし、自分の力だけではどうしても生活できない人達が多くいます。寝たきりや一人暮らし老人、体に障害を持っている人達、事故で親をなくした子供達、病氣と闘っている人達などです。

私たちはこのことをよく理解し、決して無関心ではいられず、地域全体の問題として考えることが必要だと、十二月五日（水）玉松公民館において福祉関係者約百八十人が参加して、第八回社会福祉大会が開催されました。

午前十時三十分から始まった指導課長が「知恵袋の紐をた大会では、青森県総合社会教育センターの佐藤孝希研修

といてみませんか」と題して記念講演。「二十一世紀の村づくりには、これまで荒波を乗り越えてきた先人（先達）の助言・苦言が大切だ。培ってきた知恵を堅い紐で結ばないで、地域や若い父母達にほどこすことが、やがては将来を担う子どもたちのためとなつて、よりよい村づくりに繋がっていくのではないか。おじいさん、おばあさんの果たす役割は重要だ」と話してくれました。

昼食休憩に、村母子寡婦福祉会（高田京子会長）の協力により手作り弁当が参加者全員に配られました。

またアトラクションでは保育所の可愛い子どもたちの遊戯で、楽しいひとときを過ご

しました。



なつて活動されている皆様方に敬意を表します」と祝辞をいただきました。

最後に、大会の成功とますますの発展を祈念し万歳を三唱して大会を無事終了しました。

● 社会福祉寄与感謝状

藤本作蔵、八戸初恵、鈴木キヌエ、小野博

● 県共同募金会長感謝状

▼「個人」吉田清光、坂本繁男、坂本豊道、坂本祐一、八戸一郎、野藤あい、津島鉄男、

工藤弘、小松宗、田中勝家、小松直作、高田仁吉、小猿粕

雄、山館清、佐井浩行、久慈寛一、佐井武道

▼「法人」田浦建設、坂本養

鶏組合、坂本建材

午後からの式典では、大会長の坂本豊道社会福祉協議会村の発展はない。皆が健康で明るい村づくりを」と式辞を述べ、八戸良次郎村長が「常日頃から社会福祉に対して、あなたがかいご支援を賜り感謝申し上げます。行政としても福祉向上のために頑張つてまいります」とあいさつの後、社会福祉のために多額の寄付をしてくれた藤本作蔵さん他三氏に感謝状の授与と県共同募金会長感謝状の伝達が行われました。

来賓として工藤堅固東地方福祉事務所長、木戸一郎東郡社会福祉連絡協議会長より、

「地域福祉活動のリーダーと



七つ
北緯
41°



社会福祉事業に 役立てて!

村母親クラブ連合協議会と 村役場女子職員が寄付

十一月二十八日(水)村社会福祉協議会で、小松事務局長へ社会福祉事業に役立てて下さいと村母親クラブ連絡協議会会長の坂本藤枝さんと、村役場女子職員代表より温かい善意の寄付、両団体合わせて一万四千円余りが手渡されました。

この寄付金は、十一月三、四日に行われた第十回蓬田村民祭において、母親クラブはフランクフルトやシュークリーム等を販売した収益金を、また、役場女子職員は家庭に眠ったままになっている不用品をバザーして得た益金です。寄付に訪れた両団体の代表は「これからも地域・職場ぐるみで福祉活動が続けていきます」と話しており、これを受けて、小松事務局長は「皆さんの心配りに感謝します。地域福祉向上のため有効に使わせてもらいます」と感謝していました。両団体は昨年も同様に寄付を行っており、今後ますますの活躍が期待されます。

・太い指 あれもこれもと 初詣
・年新た 夢と抱負を ちよっと持つ
・立ち汽車で 故郷の新春 祝う膳
・年玉に 祖父母笑顔の 手を合わせ

栄博 俊久 勝子 正一

・真白な 雪は子供の 夢芝居
・かがやく目 予等はマッコを 又かぞえ
・御無沙汰を 賀状で詫びて ゴロ寝する
・何もして やれぬ病む孫の 無事祈り

勝子 俊久 栄博 正一

税務等の無料個別相談を

開催します!

蓬田村商工会では、専門の税理士の方による税務等の無料個別相談を開催しますので、お気軽にご利用下さい。

- ◆相談日 平成3年1月22日～25日(4日間)
- ◆時間 午後1時30分～午後4時30分まで
- ◆場所 蓬田村商工会館
- ◆担当税理士 木村 繁 先生



一枚の 写真

郷沢

中川

悟ごさん

中川さん

昭和六十二年九月六日、第四回青森県空手道選手権大会に出場して、一回目の三位を果たしました。この時は優勝するチャンスでもありませんでしたが、スタミナ不足のため優勝者に負けてしまい、とても残念な選手権大会でもありました。

暮らしと
電気安全
風揚げには注意!

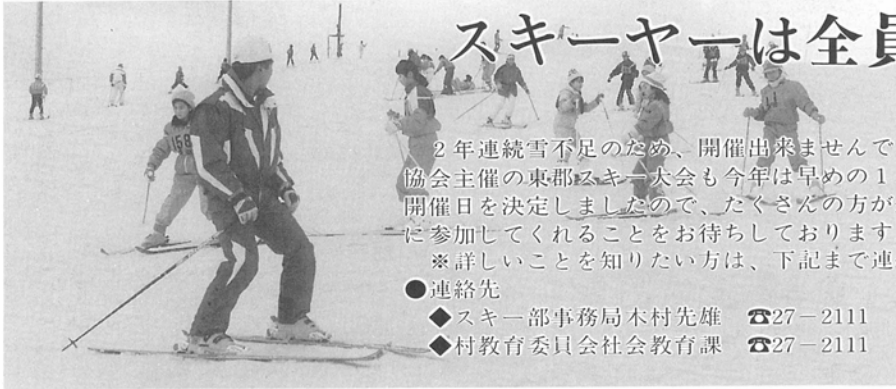
風揚げが一般に盛んになったのは、江戸時代といわれております。庶民の風揚げ熱の高まりに明暦元年(今から三百三十五年前)の当時の幕府から、通行妨害などの理由で禁止命令が出されています。しかし依然として風揚げは続いてきたと言われています。ところで、今日では風揚げ

をする適当な広場が少ないばかりか、場所を選ばないと自動車や電線に触れて交通事故や停電事故をひき起こし非常に危険です。万一風が電話にひっかかった場合は、素人の取りはずしは感電や墜落の危険がありますので、必ず電力会社に連絡しましょう。

新年あけましておめでとうございます。

今年もまた暖冬の影響で、雪不足が心配されております。雪をテラレテ一句ごぞろぞろ。

1月20日(日) 東郡スキー大会開催決定。



スキーヤーは全員集合!

2年連続雪不足のため、開催出来ませんでした、東郡体育協会主催の東郡スキー大会も今年は早めの1月20日(日)に開催日を決定しましたので、たくさだの方が選手として大会に参加してくれることをお待ちしております。

※詳しいことを知りたい方は、下記まで連絡下さい。

●連絡先

- ◆スキー部事務局木村先雄 ☎27-2111 (内) 224
- ◆村教育委員会社会教育課 ☎27-2111 (内) 272

ゲートボール教室へどうぞ!

村中央公民館

毎週水曜日午後七時から、
村農業者トレーニングセンターにおいて、村中央公民館主催のゲートボール教室が開催中です。

日(水)で教室は終了しますが、来年は、一月十六日(水)から始まる予定になっております。
詳しいことは左記まで問合せ下さい。

◆村中央公民館

☎二七二一〇七六

ゲートボールに少しでも興味のある方、ルールを勉強したい方、誰でも気軽に参加できますのでどしどしどうぞ!
また、今年は十二月二十六

検察審査会を知っていますか。

あなたが審査員に
選ばれたら

ご協力を!

交通事故、詐欺など被害にあったのに、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。どうも納得できない。

このような人のために、検察官のした処分が正しかったかどうかを審査する機関として、「検察審査会」があります。

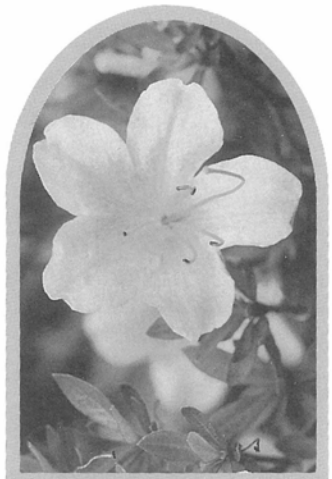
検察審査員候補者は、衆議院議員の選挙権をもっている人の中から、選挙管理委員会がくじによって無作為に選ばれます。さらに候補者の中から、くじによって検察審査員が選ばれることになっています。

あなたもいつか、審査員に選ばれる事があるかもしれません。選ばれたときには、一般の国民の代表として、ご協力をお願いします。

詳しいことは、青森市長島1丁目3番26号
「青森検察審査会事務局」☎0177-22-5351

1月の土曜閉庁日は 12日と26日です

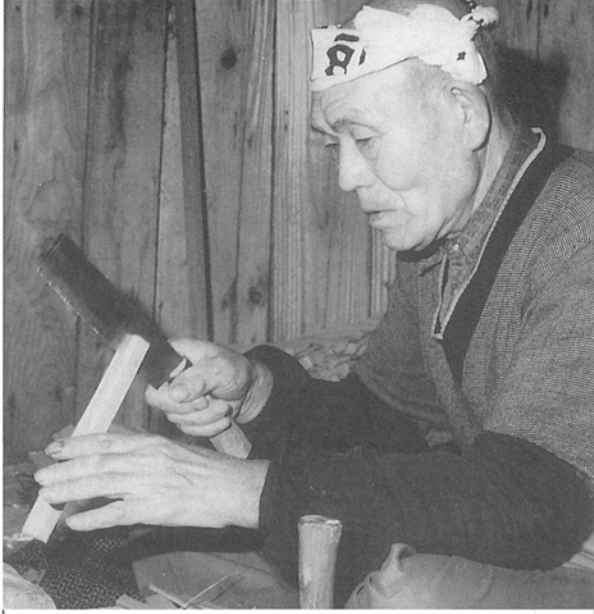
ただし中央公民館、幼稚園、保育所、児童館はこれまでどおりです



談話室

現在、日本でただ一人!

今回は、四十三年間もの長い間ヒバの割り箸を手造りしている全国でもただ一人の職人、上口清吉(長科)さんに取材しました。



上口さんの割り箸造りのきっかけは、樺太(からふと)から引上げて来て、アイスキヤンデーの棒ツコ造りから始まりました。また、人の勧めで割り箸を造り出したそうので忙しい時は夜も寝ないで仕事

をしたこともあり、それもこれもすべて六人の子供達を一人前に育てなくてはという一念からだったそうです。

青森県はヒバの宝庫。その中でも津軽半島のヒバは少し堅めの下北半島のものに比べ木の質が柔らかいので割り箸の材料に適しているそうです。

現在、全国で造られている割り箸は百十億膳。ほとんどが機械造りですが、上口さんは原木の丸太を鋸(のこぎり)で切りナタで割って、それをマキリ一本で箸の形にととのえて完成させます。

現在造っているのは、長さ七寸(二十一cm)、八寸(二十四cm)、九寸(二十七cm)の三種類で、八寸、九寸は民芸品用として、また八寸、九寸を合わせた「夫婦箸」を全国各地へ出荷しています。

最近では、全国各地のデパートより実演会の依頼があり、全国狭しと飛び回っている毎日です。

「箸では何も儲からなかったけれど、子供がまっとうに育ってくれたことが一番のうけだ」と話してくれました。

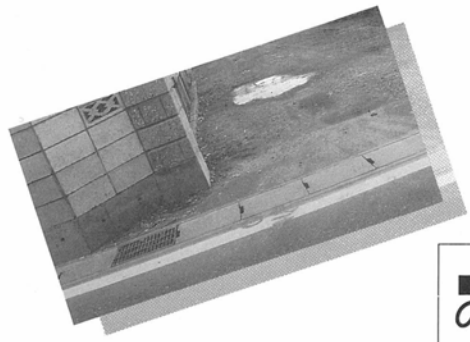
今年、八十四歳の年男を迎え、仕事にますます精を出す上口清吉さんは今日も頑張る。

No.35

かんぱる
上口 清吉さん
長科

1月行事予定

日	行	事	担	当
26	村民スキー教室「ナイター」(村営スキー場)		社会教育課	
24	村民スキー教室「ナイター」(村営スキー場)		社会教育課	
20	東郡スキー大会(村営スキー場)		東郡体育協会	
18	身体測定		蓬田小学校	
17	母親教室 9:00~(村中央公民館)		民生課	
17	始業式		蓬田小学校	
16	始業式		蓬田中学校	
9~11	少年スキー教室(村営スキー場)		社会教育課	



先日、わが村を通過している北緯41°のラインが判明しました。場所は、木村智美(瀬辺地)さん宅門柱前です。木村さん宅の前の国道280号線に、青のスプレーで北緯41°のラインを示した目印がありますので、一度ご覧下さい。

みく
つけた
35

けつばる蓬田人 ⑧

ふなやまはまのり

(南江戸川サービス)

社長 武井 利昭さん

(落語家 橋ノのどか)



蓬田村制一〇〇周年心より
お祝い申し上げます。先日友人より送られてきた百周年記念「よもぎた」を拝見し我々の頃とはすっかり変わってしまっておどろいております。行政、教育、福祉、保健衛生等私共の育った頃とは予想もつかない発展ぶりです。
私も落語家を目指し上京してからもう十五年が過ぎました。私の選んだ師匠は、三遊亭

圓馬門下橋ノ圓(山形県出身)と申します。なぜこの人を選んだかという当時東北出身の落語家は圓師匠只一人だったのです。弟子にしてくれと門をたたいたのですが、落語とは江戸囃で言葉になまりがあってはだめだと入門を断わられました。そして落語家は生涯貧乏暮らし、落語家になるより落語家と呼ばれる様な人材になりなさいと言われました。

その後、新聞広告でビル管理会社の水処理部門に入社しました。その仕事に従事しながらも師匠の後を追って寄席通い、師匠が高座を終わって出てくる所を楽屋入口で待つて

います。そんなことをくり返し二年三年と過ぎました。そして五十四年四月に総合水処理事業会社を設立しました。時間がある時は、とにかく寄席へ行くようにしました。そして五十八年三遊亭圓馬師匠が永眠されました。その時上野本牧亭で追悼寄席、橋ノ圓の会が開かれました。その時師匠に出てみるかと言われ、「お願いします」と言っと、お前は門をたたいて十年になる。よくがんばったな。今の仕事を絶対やめないという条件で入門を許可する。お前は津軽平野でのどかに育ったんだらうということ、芸名

おかげ様で会社の方も順調で現在社員十六名、平成元年度決算一億七千万円と毎年発

「橋ノのどか」をいただきました。以来いろんな寄席へ出ました。一番感動したことは六十一年夏、山形県南陽市民会館で三遊亭円楽師匠と共演したことでした。

おかげ様で会社の方も順調で現在社員十六名、平成元年度決算一億七千万円と毎年発

最後に蓬田村のますますの御発展をお祈り申し上げます。

戸籍の窓



人口と世帯数
(11月30日現在)

総人口 4,184人
男 2,017人
女 2,167人
世帯数 1,056世帯

11月受付分

お誕生おめでとうございます

田中 久志 (功 長男)
久子

ご結婚おめでとうございます

- (藤田 賢一 (中 沢)
- (太田留美子 (青 森 市)
- (中村 健 (青 森 市)
- (田中 邦子 (広 瀬)
- (稲田 豊 (青 森 市)
- (青木ルリ子 (阿弥陀川)
- (久慈 和寛 (瀬 辺 地)
- (棟方 泰子 (青 森 市)
- (石岡 重政 (弘 前 市)
- (森 幸子 (阿弥陀川)
- (奥崎 秋法 (青 森 市)
- (稲葉 和江 (高 根)
- (藤本 義彦 (長 科)
- (豊島真由美 (平 内 町)
- (一戸 厚志 (五所川原市)
- (中川 康子 (郷 沢)
- (田中 功 (蟹 田 町)
- (武井 久子 (蓬 田)

おくやみ申し上げます

佐井 正吉 (広 瀬 80歳)
八戸 ソワ (阿弥陀川 76歳)
穂波 ふさ (蓬 田 82歳)

めも

▶現住所/千葉県東葛飾郡沼南町1574-70
/☎0471(91)6307▶生年月日/昭和25年11月17日▶出身/蓬田/武井照太郎氏三男▶家族構成/妻・美栄子・長男・剛将(ごうしょう)▶好きなもの/(スポーツ)空手道五段・ゴルフ・エレキギター▶経歴/青森大学卒業(昭和49年)・有限会社江戸川サービス設立(昭和54年)落語芸術協会橋ノ圓入門許可(昭和58)~現在に至る